

令和4年度 事業報告

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

1 事業の状況

① 研究助成事業

「令和4年度公益財団法人伊藤記念財団助成応募要項」を当財団のホームページにより掲載するほか、国公立大学等に対する書面による掲示依頼の方法によって公募を行ったところ、助成の申請件数は、合計187件でした。専門委員会で選考を行い、理事会において助成の対象に決定した採択件数、助成金額は、79件、120,000千円でした。

また、令和3年度の助成研究調査対象者から研究成果報告書を各選考委員のもとで校閲、所要の調整を行ったうえ、12月に「令和3年度食肉に関する助成研究調査成果報告書VOL.40」として540部を製本のうえ、研究者、都道府県、国立国会図書館、都道府県立図書館、国公立大学、同図書館、関係諸団体等に対して無償で配付しました。なお、成果報告書につきましては、当財団のホームページへも掲載いたしました。

② 伊藤記念財団賞授賞事業

食肉に関する学術上の研究に優れた業績が認められ、将来の活躍が期待される研究者に伊藤記念財団賞を授与することとし、本年度は、3名の者に授賞し、その業績の概要(受賞理由)を「令和3年度食肉に関する助成研究調査成果報告書VOL.40」及び当財団のホームページに掲載したほか、第8回伊藤記念財団賞の授賞者の募集を行い、選考委員会において候補者の選考を行いました。令和5年3月1日開催の理事会において受賞者として決定した研究者は4名です。

③ 学会等事業助成事業

食肉に関して、研究水準が十分高く、かつ、経理的基礎と会員の広がりがあると認められる学会又は研究会等が実施主体となつて行う①研究者の海外研究集会への派遣、②国内での国際研究集会の開催及び③国内学会・研究集会時におけるセミナー等に要する経費の一部に対して助成することとし、本年度は、4学会等に助成金を交付するとともに、令和5年度助成事業について募集要領を送付して申請を募り、理事会において審議し、助成対象を決定しました。

④ 大型研究プロジェクト事業

食肉の生産、処理、加工等に関して専門委員会を経て、理事会において課題、研究者、事業費等を決定し研究、調査を実施することとし、令和4年度は昨年度に続き「と畜・解体処理(特に牛の背割り)の自動化・効率化に関する研究開発」を課題として選定するとともに新たに「食肉生産における温室効果ガス排出抑制技術の開発と検証」、「牛伝染性リンパ腫の清浄化に向け

た研究開発」―発症早期診断法の開発とその実践―(「牛伝染性リンパ腫の発症早期診断法の開発とその実践」から改題)及び「牛伝染性リンパ腫の清浄化に向けた研究開発」―ワクチン開発に必要な知見の集積―を実施いたしました。

また令和5年度につきましては「と畜・解体処理(特に牛の背割り)の自動化・効率化に関する研究開発」は一応終了することとし、それ以外の研究課題については継続して実施するについて専門委員会で審議を行い令和5年3月1日の理事会において決定いたしました。

⑤ 調査事業

専門委員会の審議を経て、理事会において調査課題、調査目的等を決定し調査を実施することとし、本年度は「食肉加工品の消費動向調査」と「代替肉及び培養肉に関する消費動向調査」の2本立てとしネット調査を実施いたしました。

⑥ 情報普及事業

創立40周年記念事業の一環として神戸市の伊藤傳三記念館において伊藤記念財団の展示事業を行い、これまで実施してきた事業や研究成果の紹介、書籍の閲覧並びに食肉や食肉加工に関する情報の普及や広報活動に努めています。

なお、記念館の正式開館は新型コロナの影響から延期となっておりましたが、令和5年2月15日に一般公開となりました。それに合わせ、当財団のHPも更新し、展示事業のコンテンツを一部閲覧できるようにいたしました。

2 役員会の開催

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 第34回理事会 | 令和4年5月6日 |
| ② 第35回理事会 | 令和4年6月14日 |
| ③ 第36回理事会 | 令和4年6月29日 |
| ④ 第37回理事会 | 令和5年3月1日 |

3 評議員会の開催

- | | |
|------------|-----------|
| 第11回定時評議員会 | 令和4年6月14日 |
|------------|-----------|

4 監事監査

- | | |
|-----|-----------|
| 実施日 | 令和4年4月13日 |
|-----|-----------|